

第 40 回 同志社ウィーク

NOTICE TO COMPETITORS

Notice Number: 2

2024/03/19

I. 艇の違反に対する 裁量ペナルティポリシー

1. 違反に対するペナルティを決定する裁量がプロテスト委員会にある場合、その範囲はゼロ点（ペナルティなし）から DSQ（失格）までです。ペナルティは、このガイドラインに沿って決定されます。
ただし、違反が故意あるいは悪質な場合には、プロテスト委員会は規則 2（公正な帆走）に基づくペナルティ（DNE）を考慮します。
2. 裁量ペナルティは、予め決められた標準ペナルティを単純に与えるものではありません。ペナルティは、一貫性を保ちながら、状況に応じて調整されます。共通した基本的な考え方は、違反に対して先ずペナルティの出発点を決定し、次に状況に応じてペナルティを増減するというものです。
3. ペナルティ決定の出発点は、表 1 と表 2 に与えられています。表 1 には、具体的な規則違反に対するバンドが示されています。表 2 は、表 1 に挙げられていない規則違反に対するバンドを決める際に用いられます。表 1 にバンドの範囲が示されている場合には、その範囲の中でバンドを決める際にも表 2 が用いられます。
4. ペナルティは次の 4 つのバンドに分けられます。
 - バンド 1： 0 – 10% (中点 5%)
 - バンド 2： 10 – 30% (中点 20%)
 - バンド 3： 30 – 70% (中点 50%)
 - バンド 4： DSQ
5. まず、表 1 と表 2 を用いて、どのバンドに相当するかを決定します。決定したバンドの中点をペナルティ決定の出発点とします。次に、バンド内でのペナルティの増減やバンドの増減が必要な要素があるか否かを決定します。

6. 以下の質問に対する答えが「はい」の場合、ペナルティーは軽減されることがあります。
- (a) 違反は偶発的であったか。
 - (b) 違反せざるを得ない事情やもっともな理由があったか。
 - (c) 競技者は、違反を自らプロテスト委員会に報告したか。
 - (d) その艇の乗員や支援者以外の者が、その違反の一因となったか。
7. 以下の質問に対する答えが「はい」の場合、ペナルティーは加重されることがあります。
- (a) 違反は繰り返されたか。
 - (b) 違反は、判断ミスや不注意ではなく、意図的であったか。
 - (c) 競技者や支援者は、違反を隠そうとしたか。
 - (d) 誰かに迷惑をかけたか。
8. プロテスト委員会は、7と8以外のことを考慮してペナルティーを増減することがあります。
9. ペナルティーを決定した後は、以下に基づき得点が与えられます。
- (a) 得点は、DSQの得点より悪くはならない。
 - (b) パーセンテージペナルティーは、小数点以下第2位を四捨五入する。
 - (c) 違反が艇の性能に影響した場合、影響したその日の全てのレースにペナルティーが課される（ただし、規則64.4(c)に基づく場合を除き、有効な抗議がなされたレースに限る）。
 - (d) 違反が艇の性能に影響していない場合、規則64.2に定められている通り、ペナルティーはそのインシデントに時間的に最も近く帆走したレースに課される。

表1 艇による規則違反と対応するバンド

NoR6	装備、識別	
NoR8	指示通り識別番号を貼り付けなかった	2-4
	指示通り識別番号を貼り付けたが剥がれた	1
	同一セールナンバーを複数艇に使用した	1
	艇にクラス・デコールを正しく表示しなかった	4
	SCIRA登録をしていない艇を使用した	4
	承認なしで予備艇、予備マストを使用した	4
SI3	コミュニケーション	
	LINEオープンチャットに無断で投稿した	1
	無線通信、テキスト、携帯電話のメッセージを、送信した、または、すべての艇が利用できない受信をした	3
SI4	行動規範、装備と計測のチェック	
	レース委員会からの合理的な要求に応じなかった	2-4
SI5	離岸	

	D 旗掲揚前に離岸した	1-4
SI11	スタートエリアの回避	
	進入したが、艇や運営艇を妨害していない	1
	レース中の艇を妨害した（規則 23.1 に違反した）	4
	運営艇を妨害した	2-4
SI18	チェックアウト、チェックイン(SI18.1, 18.2)	
	出艇申告をしなかった	1
	帰着申告をしなかった、又は遅れた	1-2
	操作が発動した、又は発動しても不思議ではなかった	4
	出艇しないことの報告、リタイア報告(SI18.3, 18.4)	
	リタイア報告書を提出しなかった、又は遅れた	1-2
	操作が発動した、又は発動しても不思議ではなかった	4
SI21	検査のための指示に従うこと	
	指示に従わなかったが、尤もな理由があった	1
	尤もな理由なく、指示に従わなかった	3
RRS47	ゴミの処分	
	故意にゴミを水中に捨てた	4
クラス規則		
	セール番号、国を示す文字	1
	セールストップが無い、または適切ではない位置にある	2
	バンドを越えてセールを展開	3
	許されていないハル/フォイル表面処理	4
	大会リミテーションマークのない装備の使用（計測証明はある）	3
	安全装備の非搭載、または、不適切な安全装備	1-4
	禁止された GPS ほかの電子機器の使用	4
	計測証明のない装備の使用	4
	補正おもりがない、または、正しくない位置にある	4
規定された許容範囲を超える装備（損傷または通常の損耗を除く。RRS64.4(a)参照）		
	○艇速・性能に影響する可能性がない	1
	○艇速・性能に影響する可能性はあるが、明らかでは無い	2
	○艇速・性能に明らかな影響がある	4

表2 艇の違反に対するペナルティーを決めるための一般的な質問と対応するバンド

危険を及ぼす可能性があったか？	
及ぼさなかった	1
及ぼす可能性はあったが、及ぼしたか否か明らかではない	2-3
及ぼした	4

艇は、競技場の有利を得なかったことを証明できたか？	
証明できた	1
証明できなかった：有利を得る可能性はあったが、得たか否か明らかではない。	2-3
証明できなかった：有利を得た。	4
スポーツや大会の名誉を傷つける可能性があるか？	
無い。	1
懸念されるが確かではない。（プロテスト委員会は規則 69 に基づく処置を検討する）	2-3
可能性がある。（プロテスト委員会は規則 69 に基づく処置を検討する）	4
損傷や傷害を引き起こす可能性があったか？	
無かった。	1
可能性はあったが、引き起こさなかった。	2-3
引き起こした。	4

II. 支援者と支援艇の違反に対する 裁量ペナルティーポリシー

1. 全般

審問の当事者である支援者が規則（規則 69.1(a)を含む）に違反したとプロテスト委員会が判定した場合、規則 64.5 に基づき、その支援者に対するペナルティーに加えて、特定の状況においては、その支援者が支援する艇にもペナルティーが課されることがあります。この場合の支援者と艇へのペナルティーは、規則 64.5 に基づき、いずれもプロテスト委員会の裁量で決定されます。本大会のプロテスト委員会は、その裁量ペナルティーをこの「II.支援者の違反に対する 裁量ペナルティーポリシー」に沿って決定します。

裁量ペナルティーは、予め決められた標準ペナルティーを単純に与えるものではありません。ペナルティーは、一貫性を保ちながら、状況に応じて調整されます。共通した基本的な考え方は、違反に対して先ずペナルティーの出発点を決定し、次に状況に応じてペナルティーを増減するというものです。支援者が違反したかもしれない規則が規則 69.1(a)（不正行為）である場合には、プロテスト委員会は規則 69.2 に従って処置をします。

2. 支援者に対するペナルティーの出発点

2.1. ペナルティーは次の5つのレベルに分けられます。

レベル1：警告

レベル2：その支援者を1レース以上、出艇させない

レベル3：その支援者を1日以上、出艇させない

レベル4：その支援者を1日以上、大会会場に入れない

レベル5：以下の2つのいずれかまたは両方

- ・その支援者を残りの大会期間中、大会会場に入れない。
- ・規則 69（不正行為）に基づく処置をする。

2.2. ペナルティー決定の出発点は、表3と表4に与えられています。

表3には、具体的な個々の規則違反に対するペナルティーのレベルが示されています。ただし、表3に示されていても、今大会に適用される規則のいずれにも違反していない場合は、ペナルティーは無しと決定されます。

表4は、表3に挙げられていない規則違反に対するレベルを決める際に用いられます。表3にレベルの範囲が示されている場合には、その範囲の中でレベルを決める際にも表4が用いられます。

3. 艇に対するペナルティーの出発点

3.1. ペナルティーは次の4つのバンドに分けられます。

バンド1：00-10% (中点5%)

バンド2：10-30% (中点20%)

バンド3：30-70% (中点50%)

バンド4：DSQ

3.2. 規則 64.5(b)(2)に基づく艇へのペナルティーの場合は、表4を用いてバンドを決定します。

3.3. 規則 64.5(b)(1)に基づく艇へのペナルティーの場合は、表4の1つ目の質問だけを用いてバンドを決定し、決定したバンドの一つ下のバンドを適用します。バンド0(ゼロ)が決定された場合は、艇へのペナルティーは無し(ゼロ点)と決定されます。

3.4. 決定されたバンドの中点を、ペナルティー決定の出発点とします。

4. 支援者および艇に対するペナルティーの決定

4.1. 以下の質問に対する答えが「はい」の場合、ペナルティーは軽減されることがあります。

(a) 違反は偶発的であったか、または、回避できなかったか？

(b) 違反せざるを得ない事情や尤もな理由があったか。

(c) その支援者が支援している艇の乗員や支援者以外の者が、その違反に寄与したか。

(d) その支援者は違反を認め、調査に貢献したか？

4.2. 以下の質問に対する答えが「はい」の場合、ペナルティーは加重されることがあります。

(a) 違反は繰り返されたか。

(b) 違反は、判断ミスや不注意ではなく、意図的であったか。

(c) その支援者は、違反を隠そうとしたか。

(d) 誰かに迷惑をかけたか。

4.3. プロテスト委員会は、4.1と4.2以外のことを考慮してペナルティーを増減することがあります。

4.4. 艇に対するペナルティーを決定した後は、以下に基づき得点が与えられます。

(a) 得点は、DSQの得点より悪くはない。

(b) パーセンテージペナルティーは、小数点以下第2位を四捨五入する。

(c) 違反が艇の性能に影響した場合、影響したその日の全てのレースにペナルティーが課される(ただし、有効な抗議がなされたレースに限る)。

(d) 違反が艇の性能に影響していない場合、規則 64.1 に定められている通り、ペナルティーはそのインシデントに時間的に最も近く帆走したレースに課される。

表3 支援者による規則違反と対応するレベル

安全	
すべての安全装備を搭載していなかった	2-4
乗艇する全員分の十分なライフジャケットを搭載していなかった	3-5
警告に従わなかった	4-5
ライフジャケットを着用していなかった、または、支援者ではない乗員がライフジャケットを着用していなかった	1-3

警告に従わなかった	3-4
水上においてキルコードを装着していなかった	1-3
警告に従わなかった	3-5
適切な保険に加入していなかった	3-5
指定されたドライバーが、モーターボートの運転免許証を持っていなかった	3-5
認められていない人員が乗艇していた	2-4
機器、機器の一部、ブイ、標識、または同様の物品を水中に放置した	3-5
制限速度を含む地元ハーバーの規制を順守しなかった	1-5
不適切な行動、危険な行動または不適切な慣行、または競技の公平性または安全性に影響する行動に関与した	3-5
セーリング会場と制限区域	
進水または着岸のために指定されたエリアを使用しなかった	1-2
禁止された区域に駐車またはトレーラーを置いたままにした	1-2
艇がレース中、「艇がレースしているエリア」の外側にいなかった	3-5
レース中の艇の近くで引き波を最小限にしなかった	1-3
故意にゴミを水中に捨てた	3-5
電子機器と通信	
VHF ラジオ、タブレット、携帯電話、またはその他の通信機器の不正使用	2-5
VHF を介した不適切な通信 (RC への妨害)	1-2
冒瀆的な表現または口汚い表現 (RC、OA、PC または他の支援者に対して)	1-5
許可なくドローンを操作した	2-5
技術的ドーピング：情報 (気象など)、ハードウェア (艇体など)、競技者などのパフォーマンスを向上させるために非倫理的な方法や技術を使用した	2-5
その他	
その他の指示に従わなかった	1-4
レースオフィシャルからの合理的な要求に応じなかった	1-5

表4 支援者の違反に対するペナルティーを決定するための一般的な質問と対応するバンド

その支援者が支援している艇が競技場の有利を得る可能性があったか？	
有利を得なかった。可能性もなかった。	1
有利を得る可能性はあったが、得たか否か明らかではない。	2-3
有利を得た。	4
危険を及ぼす可能性があったか？	
及ぼさなかった。可能性もなかった。	1
及ぼす可能性はあったが、及ぼさなかった、または及ぼしたか否か明らかではない。	2-3
及ぼした。	4
スポーツや大会の名誉を傷つける可能性があるか？	

無い。	1
懸念されるが確かではない。(プロテスト委員会は規則 69 に基づく審問召集を検討する)	2-3
可能性がある。(プロテスト委員会は規則 69 に基づく審問召集を検討する)	4
損傷や傷害を引き起こす可能性があったか？	
無かった。	1
可能性はあったが、引き起こさなかった。	2-3
引き起こした。	4

プロテスト委員長
細川